

# 合い言葉は「ストップ地球温暖化」 環境フェスタ2010 むなかた

「ストップ地球温暖化、始めよう身近なことからエコ生活」をテーマに、むなかた環境フェスタ2010が11月23日、市民活動交流館（メイトム宗像）で開催されました。

会場では、25の参加団体による環境への取り組みの展示やミニ講演会、コンサートなどが開かれ、多くの市民が参加しました。開会式で同実行委員会長の今西良一委員長が、「地球温暖化の問題は、海面上昇による被害など地球規模で発生し、国内でも異常気象による災害が発生しています。まずは自分たちの身近な生活を見直して、省エネや省資源に努めたエコ生活の実施で、地球を、そして美しい自然環境に恵まれた宗像を未来の子どもたちに残していくために、このフェスタが市民の高揚につながることを希望します」とあいさつ。



団体の活動を紹介する展示コーナー

続いて開かれた表彰式では、宗像地区環境衛生連合会が環境衛生の普及向上などに功績があった人に贈る「生活環境改善事業功労者表彰」で、吉武地区の立石公孝（きみたか）さんと河東地区の安部和男さんが、同じく「環境衛生改

善模範地区表彰」で泉ヶ丘二丁目泉クラブ、日里地区クリーンエイト日里がそれぞれ受賞しました。

また、（財）福岡県地区衛生連合会が子どもたちの環境問題への関心を深め、意識の高揚を図るために小学生を対象に募集した「ふるさとの川や海絵画コンクール」では、次のみなさんが受賞（表1参照）。



最優秀賞の表彰を受ける東司さん（右）

ごみの減量化やリサイクル推進、ごみのポイ捨て禁止や持ち帰りなどの環境美化の推進を広く子どもたちにも認識してもらうために、市内の小学

表1 ふるさと川や海絵画コンクール

銀賞	赤間小5年	松久碧花さん
銅賞	赤間西小3年	澤 知樹くん
入選	東郷小6年	岡原 綸さん
環境フェスタ賞	河東西小4年	岡田愛美さん
	赤間小1年	天津想来さん
	自由ヶ丘南小1年	瀧口凜々子さん
	赤間小5年	萩尾優花さん
	日の里東小3年	井村慶仁くん
	玄海小2年	石橋昂樹くん
	赤間小1年	小淵雅人くん

表2 ごみのない街ポスターコンクール（4年生）

最優秀賞	地島小	東司一紗さん
優秀賞	赤間小	花田明日佳さん
	赤間小	森菜々美さん
	河東小	みついき 満生桃佳さん
	日の里西小	つずみ 曾山都澄さん
	赤間西小	栗田菜央さん
	自由ヶ丘南小	青沼里歩さん
	河東西小	友松美緒さん
	玄海小	中野友梨奈さん
	玄海東小	元岡 優さん

## 設立20周年を記念してDVDを制作 むなかた「水と緑の会」

むなかた「水と緑の会」は、市民と行政が力を合わせて、故郷の自然を守り、住民一人ひとりにとって住みよく、親しみと誇りのある故郷にすることを目的に、平成3年に設立されました。今年で設立20周年を迎え、記念式典が11月23日、「むなかた環境フェスタ2010」の会場で開催されました。

同会は、水辺教室やリサイクル石けん作りの普及、ホタルの幼虫の飼育や放流、釣川クリーン作戦、市民花壇の整備など、より良い環境づくりに取り組んでいます。特に、釣川クリーン作戦は、各地区コミュニティ運営協議会の協力を得て、毎年3,000人を超える市民が参加する「市の環境イベント」として定着しています。



記念DVDを紹介する福島会長

同会では、設立20周年を記念して、会の活動と今回創作した釣川のイメージソング「地球（ほし）の雫（しずく）」、市民に歌詞を募集して作った唱歌「釣川」、さらに「釣川音頭」を取めた記念DVDを500枚作成。記念式典の参加者や各地区コミュニティ運営協議会、市内の小・中学校などに配布しました。

同会会長の福島敏満さんは、「これらの楽曲が広く市民に愛唱され、市民一人ひとりのふるさと『むなかた』の美しい自然を守り育てていく意識が高揚されればうれしいです」と語っていました。

●「地球の雫」「釣川」の作曲者・津久場郷史さん（42歳・北九州市）

釣川の源流を訪れた時に、一滴の水が流れとなって川になり、海に流れていくのを見て感動しました。静かなフレーズで始まり、大きなうねりとなる釣川をイメージして、2曲とも親しみやすい曲にしました。コーラスのみなさんと一緒に歌った時は、涙線が緩みました

●DVDを制作した同会・広報部会長の 大谷光男さん（65歳・池野）

宗像市に移住する前、中間市で遠賀川を守る活動をしていました。宗像に来て環境活動の中で釣川の活動に携わり、釣川の四季の映像を以前から作りたいと思っていました。DVDで「水と緑の会」の活動を知ってもらい、さらに運動が広がって、きれいな釣川を後世に残していきたいと思っています

（市民記者 岩元賢一）

■問い合わせ先 同会事務局（環境保全課内） ☎（36）1130



大勢の人でにぎわった 出展ブース

この最優秀賞作品は、3月に市内全戸に配布する「平成23年度版・家庭ごみの出し方パンフレット」の表紙デザインになる予定です。また、市内環境団体による出展では、ダンボールコンポスト相談会や環境家計簿のつけ方講座など、誰でもすぐに実践できる、地球にも家計にもやさしい取り組みが多数紹介され、多くの来場者が参加しました。



葉山ヘルスケア省エネ共和国の取り組みを紹介したパネル

【参加者のコメント】  
▽葉山ヘルスケア省エネ共和国副大統領・尾伸正さん（75歳）  
わたしたちの活動も平成17年2月に始まり、6年目となります。2年前から電気や水道、ガスの使用量を昨年ものものと較べてエコ生活の達成度を確かめています。一人ひとりが省エネ、エコ生活への意識を持ち、自動的に取り組むことが大切だと思います  
▽絵画コンクールで環境フェスタ賞を受賞した井村さんの家族  
受賞した絵は、家族で出かけて昼食を食べた時の釣川河口の海を描きました。この海がいつまでもきれいで、安心して遊べる海であってほしいと思います  
■問い合わせ先 同実行委員会事務局（環境保全課内） ☎（36）1130